

【平成16年度専修学校社会人キャリアアップ教育推進事業】

事業名	キャリアアップのためのプロジェクトマネジャー教育プログラム開発		
学校法人名	学校法人吉田学園		
学校名	吉田学園ビジネス公務員専門学校 <a href="http://www.yoshida-g.ac.jp">http://www.yoshida-g.ac.jp</a>		
代表者	理事長 吉田 松雄	担当者・連絡先	菊池 徳雄 011-272-6070
<p>&lt;事業の概要&gt;</p> <p>社会人に対してプロジェクトマネジメント手法の習得を促し、付加価値が高い人材としてキャリアアップする支援となることを目的に、そして、社会人予備軍である専門学校生に対してはプロジェクトマネジメントの考え方や方法を体験させることを目的に、その教育に必要な教育プログラムや教材、演習プログラムを開発した。</p> <p>さらに、専門学校教員と大学院の研究者グループとのコラボレーションによる調査・研究活動は、専門学校教員のレベルアップに大きな効果をもたらすだけでなく、大学関係者に対して専門学校の理解を多いに深めることにつながることで、昨年度に判ったので、今年度も引き続き、大阪大学等の大学院の協力を得て、大学研究者と専門学校教員の連携で、主に専門学校におけるプロジェクトマネジメント教育についての調査・研究を行い、報告書にまとめた。</p> <p>教材開発に平行して、専門学校の学生が学内で在学中に行うイベント等のプロジェクトを指導する教員、社会人のキャリアアップ講座でプロジェクトマネジメント教育を担当する教員に対する指導者研修とプロジェクト管理ツールの使い方の研修を実施した。プロジェクト指導者研修を受講した教員による学生指導で、実際にプロジェクトを遂行し、その効果を検証した。そして、最終の事業成果を成果発表会で報告した。</p> <p>本事業における成果物は、下記URLよりダウンロードできるので、ぜひ活用してほしい。</p> <p>URL : <a href="http://www.yoshida-g.ac.jp/carrier-up/">http://www.yoshida-g.ac.jp/carrier-up/</a></p> <p>&lt;成果&gt;</p> <p>開発</p> <p>マイクロソフト株式会社の協力を得て、3種類の入門者向け教育プログラムと教材を開発した。</p> <p>社会人がキャリアアップするために必要なプロジェクトマネジメント手法の習得を目的とした「プロジェクトマネジメント入門」</p> <p>専門学校生がプロジェクトマネジメント手法を習得するために、学校行事など身近なプロジェクトを課題とした演習事例を取り上げ、指導方法などを解説した「プロジェクトマネジメント入門～プロジェクト管理ツール演習編」</p> <p>専門学校の行事等への具体的な適用をベースにした、代表的なプロジェクト管理ツールの使用方法を解説した「プロジェクトマネジメント入門～プロジェクト管理ツール操作編」</p> <p>調査&amp;研究</p> <p>調査活動に関して計画当初は「欧米のプロジェクトマネジメント事例と日本の実態調</p>			

査」を予定していたが、調査成果の専門学校へのフィードバックを勘案した結果、プロジェクトマネジメント教育の状況や、ITフロンティア事業における過去のプロジェクトマネジメントに関する成果活用状況を調査し、大学および専門学校のプロジェクトマネジメント教育事例の内容分析および研究を通して、教育機関で実施できる新しいプロジェクトマネジメント教育を提案することとし、プロジェクトマネジメントの意義とその戦略的活用について考察を行った。

研究活動も、調査から析出された内容を基に「日米欧のプロジェクトマネジメントの異同および特性の研究」を当初予定していたが、検討を重ねた結果、プロジェクト運営を中心とする組織改革を行い大きな成果を成し遂げた先進企業の事例を研究し、それから今後の組織改革の方向性を示し、そのような場所で働く社会人のキャリアアップに役立つ専門学校におけるプロジェクトマネジメント教育のあり方についていくつか提案を行った。

昨年度に引き続き、今回の調査・研究活動でも、大学研究者と専門学校教職員とのコラボレーションで行い、会議では毎回、非常に中身の濃い議論が展開された。高度な教育機関との連携を推進していくことが、専門学校のポテンシャルアップに大いに役立つので、今後もぜひこのような研究開発事業に産業界にプラス教育機関の連携を実施していくべきであると一層強く感じた。

今回の調査・研究活動を通して、日本の教育機関においては、プロジェクト参加型教育の事例はあっても、プロジェクトマネジメント教育はほとんど行われていないことが判明した。専門学校にプロジェクトマネジメント教育の土壌を育むためには、学校内で実施されるイベント等をプロジェクトとして位置づけ、その指導方法を確立して事例集を作って行く必要がある。社会人のキャリアアップ教育への応用にも、その事例は十分利用できるもので、本事業で開発した教材を活用する学校には、その事例集の開発を期待したい。

教員研修「プロジェクト管理ツールの利用方法」

インターネット教育協議会（VIC）の協力を得て、管理者・教員セミナーとして実施した。

日 時：平成16年8月5日（木）10:00～12:00

場 所：東京工科専門学校（東京都中野区）

教員研修「Project2003講習」

吉田学園教員対象のプロジェクト管理ツール利用方法の研修を行った。

日 時：平成16年10月12日（火）9:00～16:00

場 所：学校法人吉田学園（札幌市）

教員研修「プロジェクトマネジメント入門」

インターネット教育協議会（VIC）の協力を得て、教員研修会として実施した。

日 時：平成17年3月7日（月）13:00～18:00

8日（火）9:00～15:00

場 所：コンピュータ日本学院専門学校新大阪校（大阪市）

成果発表会

インターネット教育協議会（VIC）主催の合同成果発表会において実施した。

日 時：平成17年3月1日（火）15:45～16:45

場 所：アルカディア市ヶ谷私学会館（東京都千代田区）